

## 1-3 メコン河流域の魚の多様性

メコン河の下流域（中国とビルマをのぞいた下流4か国）の農村部で暮らす人びとの主要なタンパク源は、魚と淡水に生息する水生生物である。海に面しているベトナムのメコンデルタをのぞくと、流域のほぼすべての地域で淡水魚の消費率が非常に高い。ここでは、メコン河委員会（Mekong River Commission = MRC）が実施した戦略的環境アセスメント（Strategic Environmental Assessment = SEA）のなかの Fisheries Baseline Assessment Working Paper（ICEM 2010）から、メコン河の魚について概観する。

### メコン河流域の魚類の多様性

世界204河川、32湖を網羅するデータベース FishBase の2009年の登録情報によると、メコン河では、アマゾン河の1,271種に次ぐ781種の魚種が確認されており、世界第2位の魚類の多様性を誇っている。世界自然保護基金（World Wildlife Fund = WWF）の報告によると、メコン河流域では、ここ10年で279種以上の魚の新種が発見されており、「生物多様性のホットスポット」となっている。過去には、メコン河の魚種は1,200種にのぼると見られていたが、現在では、淡水魚で850種、一時的にメコン河口付近を利用する海の魚をふくめて、1,100種程度が生息していると予想されている。また、FishBaseに登録されているカンボジアのトンレサップ湖の魚は197種で、世界第4位の魚類の多様性を持っている。ちなみに、日本の琵琶湖は69種で第6位である。

支流を含め、流域を20に区分した場合の魚種数は、次のとおりである。

地点	種 (Species)	族 (Families)	固有種 (Endemic)
中国・源流部	24	3	4
中国・上流	34	4	4
中国・中流	48	8	7
中国・下流	122	21	15
北部ラオス	140	30	26
ウー川	72	15	29
ナムグム川	156	27	43
ナムマン川	57	19	17
ナムカディン川	99	21	38
ソクラーム川	216	40	39
セバンファイ川	157	31	51
セバンヒヤン川	160	33	47
ムン川 - チー川	270	38	49
コーン滝下流	168	34	25
ストウントレン - クラチェ	204	37	33
セコン川	214	33	63
セサン川	133	26	24

<自然と私たちの未来を考える～メコン河流域と日本～>

スレポック川	204	32	38
トンレサップ湖	284	45	31
メコンデルタ	486	73	28

表 メコン河流域 20 か所における魚種の多様性 (ICEM 2010: 11)

この表からは、海の魚をふくむメコンデルタをのぞいても、支流ソクラーム川、ムン川 - チー川流域 (以上、タイ国内)、ストゥントレン - クラチェ間のメコン河本流、セコン川、スレポック川 (以上、カンボジア国内) で魚種が非常に多様であることが分かる。メコン河の魚の多様性は支流で非常に高い。

<参考資料：英語>

International Center for Environmental Management (ICEM). 2010. Mekong River Commission (MRC) Strategic Environmental Assessment (SEA) for Hydropower on the Mekong Mainstream: Fisheries Baseline Assessment Working Paper. Vientiane, Lao PDR: MRC.

<http://www.mrcmekong.org/about-the-mrc/programmes/initiative-on-sustainable-hydropower/strategic-environmental-assessment-of-mainstream-dams/>

(木口由香)